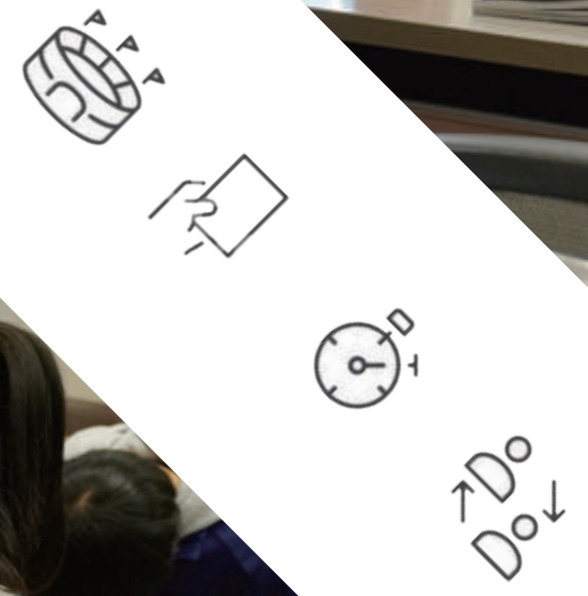
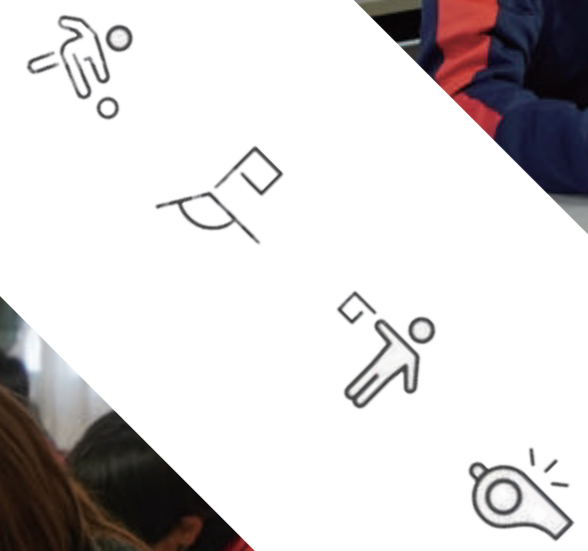


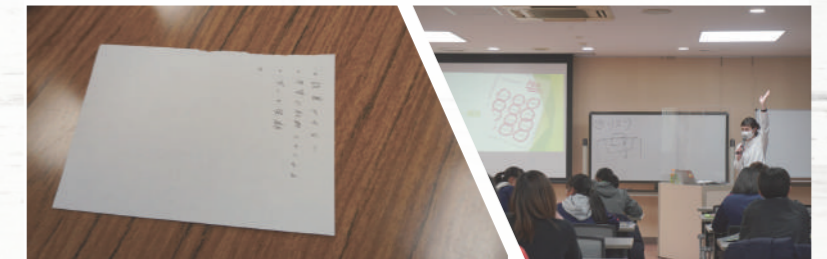


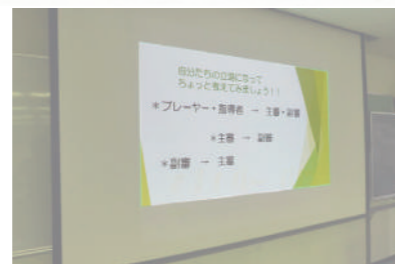
裏側から ひと 照らす女性。

女子審判員 活動報告
女子審判員 3-4 級合同更新講習会

県審判委員会
女子部







0321

アクティブ女子研修会

2022. 03.21

於：県協会大会議室



[2021年度アクティブ女子審判員研修会]

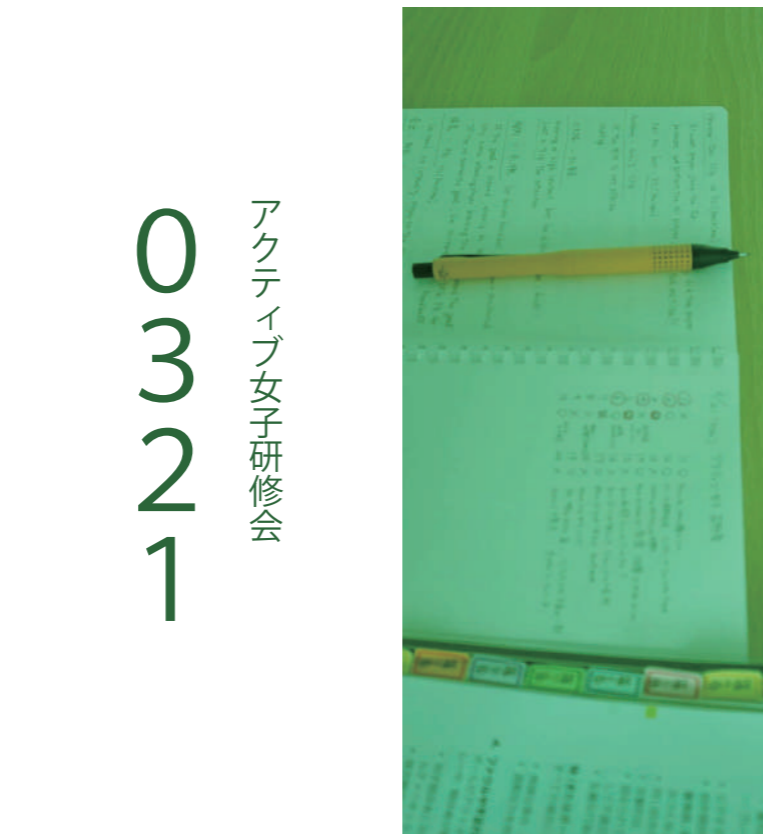
久々にアクティブ女子審判員の研修会を開催。

3年前からのコロナ禍の中、みんなで集まって研修をする機会が減りましたが、今回はコロナ禍でなかなか活動が難しい審判員、小さなお子さんがいてあまり活動が出来ていない審判員、海外に留学中で一時帰国していた審判委員など、普段会えないメンバーにも会えることができました。また、同じ時間を過ごし、一緒に勉強する機会も大切だと改めて感じました。

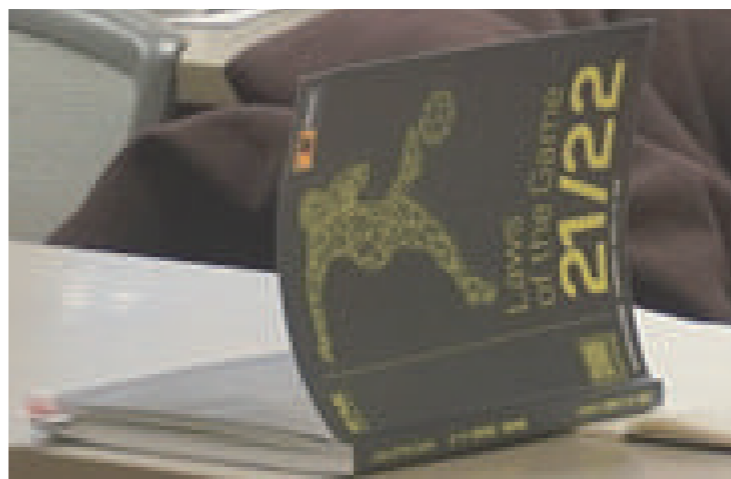
兵庫県では、出産後も頑張って活動する審判員が増えてきており、まだまだ大会や試合などでお子さんと一緒にという環境は難しいですが、今回のような女子の研修会では何も気にせず一緒に参加できる環境を作り、少しずつではありますが大会や試合でも一緒に行けることで活動機会が増やせる環境になるよう目指していきたいと考えております。

女子部長 的崎睦子





0321
アクティブ女子研修会





JFA
U-15
WOMEN'S
CHAMPIONSHIP

全日本U-15女子サッカー選手権大会に参加して

今回、12月12日～13日にかけて開催された第25回全日本U-15女子サッカー選手権大会に地域推薦審判員として参加させて頂きましたので、ご報告させていただきます。

今大会は新型コロナウイルスの影響もあり、全体研修は無く割当形式での研修となりました。地域推薦審判員は岐阜会場、静岡会場にそれぞれ4名ずつが参加しました。

12日 マイナビベガルタ仙台レディース対ザスパクサツ戦 担当：主審

今回自分の課題として、攻撃の流れから遅れず争点の近くで判定することをテーマとしていました。試合中、攻守が入れ替わった直後のロングキックに対し出遅れることがありましたが、戦術の特徴を読み、修正しロングキックやサイドチェンジに対応して争点の近くで判定することができていたと思います。

次の争点を意識してしまうあまりアフターに目を残せず判定できなかった場面があり今後の課題となりました。この試合では前半にPKをとり、決定的な得点機会の阻止としてYカードを提示しました。アセッサーからはPKの判定そのものは良いポジションで判定できていたが、試合全体を通してみたときのファウルの基準と比べてPKとしたファウルは厳しすぎたのではないかと助言を頂き、争点となる場面とその前のアプローチの部分が見え視野に入る距離と角度を意識してポジショニングをとっていかねばと感じました。

事象が起こってから判定して笛やシグナルをするまでに時間がかかるため、事象を整理して判断する処理スピードを速くしていく必要を感じました。

13日 ノジマステラ相模原対ザスパクサツ群馬戦 担当：AR1

この試合では審判団の協力というところで、シークレットサインも含めて主審とアイコンタクトを合わせることを意識しました。印象に残っているシーンがコーナーキックからゴールポストに跳ね返って、コーナーキックのキッカーが再度ボールに触れるシーンがありました。ベンチ側からはゴールポストにボールが当たった瞬間にGKがはじいたように見える場面で、4thキッカーが再びボールにプレーしたときに実際はGKが触れていないことを確認のために主審を呼び確認するという場面がありました。

私自身はゴールポストに当たったか、GKが触れたかというところをGKがはじいたかと疑問を持つことなく流していましたが、もしかしたら…という視点を持って正しい判定、再開方法を行うために審判団で協力する大切さを学びました。

今大会は全体研修がなかったということもあり、同じ岐阜会場の審判員同士でオンラインにて初日のチームの特徴を報告しあい、準備をして2日目に臨みました。

情報の取り方が変化しているように、自分自身も審判員としてアップデートしていかなければと思った瞬間でした。審判員同士で関わる時間は少なかったですが、各地域で選手のために自己成長のために審判活動に励んでいる仲間と知り合い刺激を受けました。

最後に、新型コロナウイルスの感染拡大し大変な状況にも関わらず、会場準備、運営に携わられた東海審判員会の皆様と研修会に推薦して下さった関西サッカー協会、兵庫県サッカー協会の皆様に心よりお礼申し上げます。今後もより一層審判活動に精進して参りたいと思いますのでご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

2021年度

昇級・昇格 報告

紙面構成上、トレーディングカードをイメージした内容として掲載しております。

文字が小さく読みづらくなっている為、PDF 拡大機能を使用し、文章をお読みいただけますと幸いです。

2022 PICK UP REFEREES



Saki Nakamoto



中本 早紀

国際副審

この度、2022年の国際審判員（副審）として登録していただきました。中本早紀と申します。
これまで多くのご指導をしてくださった兵庫県サッカー協会の皆様には大変感謝しております。審判活動を始めたばかりの頃は、まさか自分が国際審判員になれるなんて夢にも思いませんでした。
しかし、女子1級として活動していく中で尊敬する多くの先輩方に出会い、W杯を実際に担当した方々のお話をたくさん聞かせていただきました。いつかそんな舞台に立ちたいなと思ったことを今でも忘れません。私たち審判員は、選手やチームスタッフが積み上げてきたものを試合で発揮できるようにサポートすることが1番の仕事だと思います。
WEリーグが開幕してより一層そう感じるようになりました。私たちが選手と同じように試合に向けて心も身体も準備をしなければいけません。私一人の力では到底できません。応援して下さる職場の皆様、そして何より私の活動を理解してくれるサッカー部の部員たち。
まだまだスタートラインに立ったに過ぎませんが、そんな彼らに少しでも夢と希望を届けられるような存在になれるよう、これからも精進して参りたいと思います。

2022 PICK UP REFEREES



Maki Yoshinaga



吉永 真紀

女子1級

この度、女子1級審判員に昇級させていただきました吉永真紀と申します。
まず初めに、遠い会場や悪天候でも毎試合足を運んで様々なアドバイスや助言をくださったインストラクターの方々、常にサポートをくださった審判員の方々、本当にありがとうございます。たくさんの方に支えられ、応援していただき、昇級することができました。
私が審判を始めたのはママさんのサッカーチームに入り、チームで審判の資格を持った人がいるということで、審判講習会に参加したことがきっかけです。そこから、「審判って楽しい!」と思い、少しずつチーム以外の審判もするようになりました。様々な試合の審判を経験していく中で、選手に申し訳ないレフェリングをして、自分が不甲斐なく、情けなくなることもたくさんありました。しかし、どんな時も気にかけて、そして声をかけてくださる方々のおかげで、その悔しさをバネにして、次の試合に取り組むことができました。
関わってくださった方への感謝の気持ちを忘れず、恩返しできるように、責任を持って精一杯取り組んでいきたいです。
今後ともよろしくお願いします!

2022 PICK UP REFEREES



Misuzu Kawashima



川嶋 美鈴

2級

この度、2級審判員に昇級させていただきました、川嶋美鈴と申します。
まず初めに、2級昇級にあたり兵庫県サッカー協会ならびに女子部・インストラクターの方々にはご支援ご指導いただき、心より感謝申し上げます。
私が審判員を目指したのは、教員として高校の部活動で自分ができることをやろうと思ったからです。子どもたちをサポートできるようにと審判活動を始めて2年が経ちましたが、サッカーの奥深さであったり、女子・男子の試合を両方見て特徴の違いを学ぶことができ、とても良い経験が出来ていると感じています。
審査を受けた後も試合を吹けば吹くほど自分が未熟であることを実感する日々ですが、自分ができることは何なのか、楽しくサッカーをしてもらうには何が必要なのか、常に模索し続けながらこれからも一歩ずつ前進していきたいです。
最後になりましたが、今後ともご指導よろしくお願い致します。

2022 PICK UP REFEREES



Kana Shioji



塩路 香菜

2級

この度、2級審判員に昇級させていただきました、塩路香菜と申します。
まず初めに今回の2級昇級にあたり、ご指導頂きました兵庫県サッカー協会の皆様並びに女子部の皆様、インストラクターの皆様にご心より御礼申し上げます。
私は高校2年生の秋頃に3級審判員に昇級し本格的に活動を始めました。当時は所属していた部活に少しでも役に立つことができればと思い始めた活動ですが、さまざまな経験をすることによりもっと積極的に活動したいと思うようになりました。
審判活動をしていく中で自分の思い通りにうまくレフェリーができない時間も多々あり、周りの方々に迷惑をかけてしまうこともありましたが、一つ一つ丁寧にアドバイスの指導をしていただき2級に昇級することができました。今後は2級審判員としての自覚や責任を持ち、現状に満足せずスキルアップができるよう常にリスペクトの精神を持ち続けながら活動していきたいです。
最後になりましたが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

2022 PICK UP REFEREES



Sayane Nishijima



西嶋 咲音

2級

この度、2級審判員に昇級させていただきました西嶋咲音と申します。
まず初めに、これまで沢山のご指導、サポートをしていただいた県サッカー協会の皆様にご心より感謝申し上げます。
私は高校からサッカーを始め、選手として力を発揮することはありましたが、審判活動を始めて世界が広がり、人生が変わるような出会いも経験することができました。
現在は大学のサッカー部でマネージャーをしながら学連審判部にも所属させていただいており、割当て部活を空けることが多い中、むしろ応援して下さるコーチの方々や先輩、同期の存在がとても有難く、また心強く感じています。
これまで約4年半審判活動を続けてきて、サッカーに関する事以外にも学んだ事が多くあり、人としても大きく成長させていただきました。今後は更に上を目指すことはもちろんのこと、関わって下さっている全ての方に良い報告をしていけるよう、精進したいと思っています。
まだまだ未熟者ではございますが、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。